

こちゅう



秋の吉備路を行く (地域医療連携室係長 安田 浩二)

特集 健康と教育セミナー 木村副院長講演会

- 褥瘡対策委員会活動
- 医療機器 (MRI) のご紹介
- 公開医療介護講座 9月度「介護保険におけるケアマネジャーの役割」 / 出張ピアサロン / 琴浦ふれ愛ボランティア通信
- 医療安全管理室コラム / 地域医療連携室だより / オープンギャラリー
- 身近にある法律相談Q&A / 食材の底力「ほうじ茶」
- 10月診療予定表 / 当番医のお知らせ

平成 28 年 9 月 3 日 (土) 14 時より、倉敷市民会館 1 階展示室にて、朝日新聞倉敷販売(株)主催、倉敷市教育委員会後援の市民の方々を対象とした講演会、第 12 回「健康と教育セミナー」が行われました。

今回は、朝日新聞倉敷販売(株)より講演依頼があり、当院脳神経外科部長であり副院長の木村知一郎医師が「わたくしたちは、まだ、霧の中にいる!! ～ビュッフォンの針と認知症～」と題し、脳卒中の発症メカニズムやその治療方法、誰でもかかりうる身近な認知症について医学的・社会的見地からお話を致しました。

土曜日午後にもかかわらず、熱心な聴講者の方々約 90 名ものご参加をいただき、内頸動脈狭窄に対する手術方法や頭部 CT・MRI など画像を交えながらの、脳卒中や認知症に対する予防策やケア方法の解説に興味を寄せてお聴きになられていました。聴講になられました方々に少しでも脳卒中や認知症への関心を持っていただき、生活習慣病予防として参考にさせていただければ幸いに思います。また、今回盛況な講演の場をご提供・ご協力いただきました朝日新聞倉敷販売(株)や倉敷市民会館のスタッフの方々にご心より厚く御礼申し上げます。



(地域医療連携室係長 安田 浩二)

後援：倉敷市教育委員会

第12回 健康と教育セミナー

＜テーマ＞
**「わたくしたちは、
 まだ、霧の中にいる!!」**
 ～ビュッフォンの針と認知症～

参加費無料
(事前申し込みが必要になります)

【日 時】
 2016年 **9月3日(土)**
 開演 14:00～16:00
(入場受付 13:30～)

【会 場】 倉敷市民会館 1階展示室
岡山県倉敷市本町17-1

【定員数】 先着80名

いつも朝日新聞をご愛読くださいますに感謝しております。弊社は文化都市である倉敷の地域貢献の一環として、「健康と教育」をテーマとした講演会を隔月で開催して1周年となりました。これからも一層、倉敷の皆様に喜んでいただけるような企画を作っていきます。

第12回セミナーは、児島中央病院副院長の木村知一郎氏を講師に、「わたくしたちは、まだ、霧の中にいる!!～ビュッフォンの針と認知症～」をテーマに語っていただきます。ふるってご参加ください。

■ 講師
 児島中央病院 副院長 脳神経外科・脳卒中科
木村 知一郎 氏
(きむら ともいちろう)

【講師プロフィール】
 1957年 (昭和32年) 10月7日兵庫県生まれ
 1985年3月 岡山医科大学医学部 卒業
 同 5月 医師免許 (No.28953) 取得
 同 5月 岡山大学 脳神経外科 入局
 1988年5月 文部教官 助手
 1991年7月 日本脳神経科学会
 脳神経外科 専門医 取得 (No.3148)
 1994年4月 (財)児島中央病院 脳神経外科部長 専攻
 2002年2月 同 副院長 専攻
 2003年 日本脳卒中学会 脳卒中専門医 取得
(No.20030765)
 2004年より 倉敷ブレインタック研究会 世話人
 2006年 倉敷保健福祉功労者市長表彰
 倉敷医療事業功労者賞
 脳神経科学会指導医





第18回 日本褥瘡学会学術集会

今年9月2日（金）～3日（土）にパシフィコ横浜（神奈川県）で開催されました「第18回日本褥瘡学会学術集会」に参加してまいりました。今大会のテーマである「深まる知識 広がる連携」に準えて印象に残った点などをお伝えしようと思います。

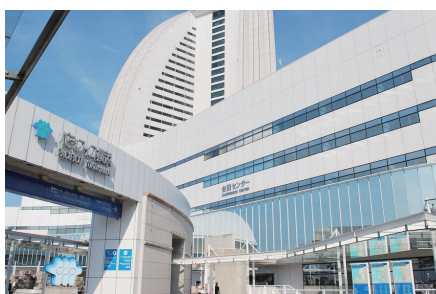


● 褥瘡対策

日本の褥瘡有病率は世界一低いといわれています。しかし、シンポジウムやワークショップ、一般演題の発表などを聞き感じたことは、大学病院や一般病院、福祉施設などの施設間や在宅、それぞれの職種により褥瘡対策に関する意識の差がまだまだ大きいと感じました。褥瘡予防の基本になるのは、体圧分散と体位変換を含むポジショニングとスキンケア、栄養です。当院でも独自の体圧分散寝具選択基準によるマットレスの選択、リハビリスタッフが中心となったポジショニング指導、皮膚の生理機能を維持するための予防的スキンケア、NSTによる検討を行っています。スタッフ間の意識を高め、これらを有効活用し、褥瘡発生をなくすることが大きな課題です。

● 地域連携

次に褥瘡を持つ患者様が退院する際、在宅との架け橋となるケアマネジャーの重要性を改めて感じました。患者様は疾患があり褥瘡があるということは、日常生活自立度も低く介護力を多く必要としていることを示します。そのため患者様の生活はもちろん、ご家族の皆様の生活を考えた介護用品の選択とサービス調整が必要です。また、褥瘡悪化の兆候が早期発見され対応ができるような体制作りも必要になります。そのためにも褥瘡経過報告書などの書式や地域と共に学ぶ場など、もう一步踏み込んだ地域連携が課題と考えています。



▲会場となったパシフィコ横浜

● シーティング

大部分の人が車椅子と聞いて連想するものは、移動を中心としたタイプのものだと思います。近年の車椅子とサポート用品の発展とシーティング技術の普及により、車椅子上の生活に安定性と快適性をもたせています。脳血管障害などによる身体の障害を持つ患者様にとって、残存機能を最大限に発揮できることは、生活の幅が広がることにつながります。当院もモジューラ型車椅子は少ない状況ですが、私達医療従事者はこれらを考え車椅子生活をサポートしていく必要があります。

● 医療機器圧迫損傷

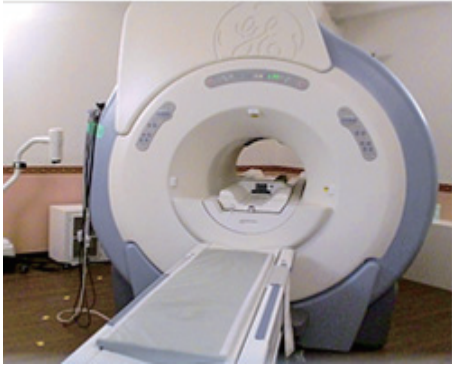
医療関連機器圧迫損傷(MDRPU)とは、「医療関連機器による圧迫で生じる皮膚ないし下床の組織損傷であり、厳密には従来の褥瘡すなわち自重関連褥瘡と区別されるが、ともに圧迫創傷であり広い意味では褥瘡の範疇に属する。なお、尿道、消化管、気道等の粘膜に発生する創傷は含めない。」と定義されています。第4期日本褥瘡学会理事長である真田弘美先生が行った院内調査の結果では、褥瘡全体の約30%を医療関連機器圧迫損傷が占めていたという結果があります。定義より、従来の褥瘡と区別し考えることになりましたが、広い意味では褥瘡の範疇に属します。当院は、医療関連機器圧迫損傷の発生状況について、現状把握も対策も出来ていません。医療関連機器圧迫損傷は、医療事故に含まれる部分でもあり、早期に予防対策をまとめることが必要です。2016年日本褥瘡学会より、医療関連機器圧迫損傷の予防と管理ベストプラクティスが発表されました。これらを参考に、院内で優先度の高い項目から院内マニュアル整理を行っていきたいと考えています。

(2階一般病棟主任 日本褥瘡学会 認定褥瘡看護師 武田 耕二郎)



医療機器 (MRI) のご紹介

皆さんは“MRI”という言葉を目にした事がありますか？これは、放射線科で行われる唯一放射線を使わない検査です。最近ではポピュラーな検査の一つになりつつありますので、ご存知の方も多いでしょう。そこで今回は、この“MRI”についてお話をさせていただきます。



▲MRI装置 (GE社製 Signa EXCITE Plus 1.5T)

左の写真が“MRI装置”です。大きな機械で人ひとりがすっぽり入ってしまいます。この装置は“電波”と“磁石”の力を使って人間のさまざまな方向の断面の写真を撮影します。放射線は使用していませんので人体に害は無いと言われています。ただし現在のところ欠点が2つあります。一つは時間がかかるということ（部位にもよりますがだいたい20分～30分ほど）。

もう一つは検査中大きな音を立てること（工事現場のような大きな音）です。しかしながら、X線を使用した検査では判別の難しい骨以外の部分が観察しやすいこと、そしてX線による被曝がないことなどの利点を持っています。

《MRIが有効な例》

では、この装置はどのような場合に有効なのでしょう。

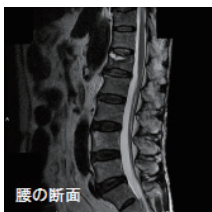
いくつか例を挙げて見ましょう。

- 脳梗塞が起こっていないか・脳卒中の原因になるような疾患がないか
- めまい・頭痛の原因が知りたい
- 手のしびれ・肩こり・肩の痛みの原因はなにか
- 腰の痛み・足の痺れがあるのだが悪くはないだろうか
- 膝の痛みの原因はなんだろうか

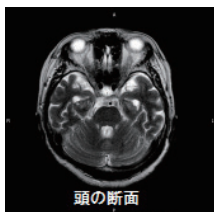


▲撮影風景

その他にも、新しい骨折があるかどうかの確認など、さまざまな利用法があります。



腰の断面



頭の断面



頭の中の血管

左の画像は実際にMRI装置で撮影された写真です。細かく、鮮明でまた立体画像も作成することが出来ます。

このように MRI にはさまざまな利用法があります。気になる事がある方、興味をお持ちになった方はかかりつけの先生にご相談されてみてはいかがでしょうか。 (放射線科技師長 夏田 省吾)

児島中央病院では近隣の先生方からの検査依頼をお受けしております。

検査ご希望の際は、かかりつけの先生に御相談ください。

<検査予約> ☎086-472-1611 (代表) 放射線科

<お問合せ> ☎086-473-7815 (直通) 地域医療連携室



「介護保険におけるケアマネジャーの役割」

介護保険を利用するためにケアプランの作成と介護保険サービスの調整、サービス給付費の計算や請求などの業務を実際に手がけるのが介護支援専門員（ケアマネジャー）です。今回は介護保険制度による在宅介護サービスや施設介護サービス、予防介護事業介護実際についてお話ししました。

自宅での介護に不安のある方や通院・入院中の方で自宅生活の継続が難しいとお悩みの方がいらっしゃいましたら、お気軽にお声掛け頂ければと思います。ご本人やご家族の方々が安心して生活を送ることができるように私たちがお手伝いさせていただきます。

(ケアプランセンター児島ケアマネジャー 松岡 絵美)

お問い合わせ：ケアプランセンター児島 ☎ 086-470-5600

児島中央病院 地域医療連携室 ☎ 086-473-7815 (直通)



児島障がい者支援センター出張ピアサロンを開催

平成 28 年 9 月 16 日 (金) 10 時 30 分より、当院 1 階受付ロビーにて出張ピアサロン (障がいを抱える当事者を囲む相談会：児島障がい者支援センターはばたき主催) を開催しました。

当日は児島障がい者支援センターはばたきスタッフの西崎克子氏とピアカウンセラー 2 氏による相談会となり、若干名の方々がおしゃべりを楽しまれていました。

当会は障がいをもつ当事者同士、日頃からの困り事など忌憚のない生の声を聴くことができる機会でもあります。月に一回程度の開催(開催場所は異なります)となっていますので、興味のある方はお気軽にご参加ください。

(医療ソーシャルワーカー 安田 浩二)



琴浦ふれ愛・ボランティア通信

9 月 27 日 (水)、当院多目的ホールにてボランティアグループ「琴浦ふれ愛」の皆さんにお越しいただき、レクリエーションの一環として、入院患者の皆さんと一緒に毎月恒例の「カレンダー作り」をしました。

10 月のテーマは「秋祭り」で参加された方々はボランティアの皆さんの協力を得ながら思い思いの色絵を楽しんでいました。今月は地域の祭りでもある鴻八幡宮例大祭が予定されています。例大祭は 10 月の第二日曜日とその前日に斎行され、だんじりと 1 台の千歳楽が長さ 80m の表参道の坂を駆け上がります。

岡山三大だんじり祭りに数えられ、だんじりから奏でる祭りばやし『しゃぎり』は岡山県重要無形民俗文化財に指定されています。

(地域医療連携室 渉外・広報担当 友定 愛)

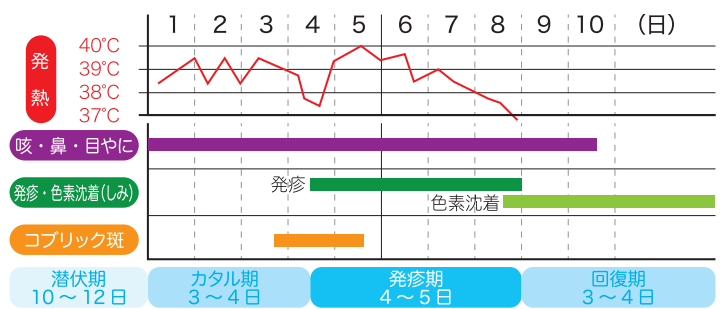




医療安全管理室コラム

8月末から麻疹（はしか）が関西国際空港（大阪府）や兵庫県、千葉県などで集団発生したニュースは報道でも取り上げられ話題となりました。麻疹は、麻疹ウイルスによる発熱、発疹を伴う急性呼吸器感染症です。10日～14日間の潜伏期間を経て、初期症状は38～39度の発熱、咳嗽、鼻水、結膜充血等で、3～4日間継続し、一時やや解熱する。

その後、再度発熱し39度以上の高熱とともに麻疹特有の発疹が耳後部・顔面から出現し、3～4日間かけて体幹、四肢へと広がります。患者は発症の2～3日前から発疹出現後4～6日頃までウイルスを放出し、感染源となります。麻疹は有効な治療薬はなく、ワクチン接種による感染（発症）予防が唯一の対処法です。麻疹は空気感染、飛沫感染、接触感染等で感染し感染力は極めて強い感染症です。麻疹に対する免疫を持っているかの確認は医療機関でできます。免疫が無い場合は予防接種で抗体を獲得することが重要になります。



(医療安全管理室 感染管理専従師長 藤森 優子)



地域医療連携室だより

当院では、毎月第4木曜日に「公開医療介護講座」を開催しています。（都合により開催曜日が変わることもあります）

毎月さまざまな講師の方に、わかりやすく医療介護に関する話をして頂いています。また、生き生き健康ノートやスタンプカードの配布も行っています。是非スタンプを集めて、素敵な粗品を頂いて下さい。詳しくは、地域医療連携室「広報担当」までお問い合わせください。

次回開催は、10月27日（木）14時～

テーマ「看護小規模多機能施設って何？」

（講師：かんたき児島ケアマネジャー 阿部亜紀・吉永いくみ）

（地域医療連携室 渉外・広報担当 田邊 絵理奈 ☎086-473-7815）



ようこそ!! オープンギャラリー「癒しの空間」へ

10月に入り、今月はちぎり絵の展示です。ちぎり絵は本年度春に続き、2回目の展示です。

前回は、とても好評で見学者も多く来院され間近で鑑賞される姿が多くみられました。また、出展された方も60歳～80歳位の方で、当病院の患者さんもおられ出展を喜んでおられると聞くと嬉しく思います。今回は秋バージョンに、13名の作品です。院内は“秋”を感じています。（外来スタッフ一同）





Q インターネットで拾ったイラストを資料に使うのは？

勉強会などの発表資料として、パワーポイントで資料を作成し、発表後にプリントアウトして配布しています。その資料の中に、インターネットの画像検索で見つけたイラストを貼り付けて使うことがあります。

このように、勉強会で使う資料にインターネットで見つけたイラストを使うことは、著作権法に違反するのでしょうか。

A インターネットで公開されているイラストにも著作権があり、著作権侵害となる可能性があります。

インターネット上には、無数のイラストが公開されており、コピーも容易ですので、何気なく利用してしまいがちですが、インターネット上で公開されているイラストであっても、著作物として保護されますので、これを著作権者に無断で発表資料に使用し、これをプリントアウトして配布すると、原則として複製権侵害等の著作権侵害となってしまいます。

例外的に、事業所内の限られたメンバーでの勉強会の資料に用いる場合は、家庭内に準ずる限られた範囲内における使用（「私的使用」といいます。）として複製が許されることもあり得ますが、私的使用となる範囲は、家庭内に準じた範囲とされていますので、おおよそ10人以上が集まる勉強会ということになると、私的使用とならない可能性が高まります。

また、公表された著作物は、引用して利用することもできるのですが、インターネット上で見つけたイラストを発表資料中のイラストとして利用する行為は、そもそも「引用」に該当しないと考えられます。



森脇法律事務所
弁護士 南本 一志

一定の条件のもと、権利者が自由な利用を宣言したフリー素材の場合は、権利者の提示した条件を満たす限り自由に利用することができます。資料作成にイラストを用いる場合であっても、このようなフリー素材を利用するなどして、著作権侵害とならないよう留意しましょう。



森脇法律事務所

〒700-0816 岡山市北区富田町一丁目2番13号

TEL : 086-226-1215 FAX : 086-226-1239

MAIL : info@moriwaki-lawoffice.com



食材の底力



ほうじ茶

温かいお茶がおいしい季節になりました。ほうじ茶とは一般に煎茶や番茶を炒った（ほうじた）ものです。独特の香ばしさがあり、苦味や渋みが少ないためお子様から高齢者まで好まれるお茶のひとつです。栄養成分では、気になるカフェインやカリウムの量は煎茶とほとんど変わりません。最近ではほうじ茶を使ったデザートも市販され人気があるようです。秋の夜長にほうじ茶でリラックスしてみませんか。（栄養管理科）

外来診療予定表 (10月)

診療科	診療時間	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	
内科	午前	☆	山本真也	井関裕義 (禁煙外来)	大貫敬三	鏡原康介	大貫敬三	井関裕義
		☆	木村泰彦		井関裕義		山本真也	
	午後	☆	鏡原康介	木村泰彦	山本真也	木村泰彦		
	夜診	18:00~20:00	内科系医師	内科系医師	内科系医師	内科系医師	内科系医師	
糖尿病外来 (内科と併診)	午前	☆					中山富雄	
	午後	☆					中山富雄	
呼吸器内科	午前	☆		阿部公亮		池田征樹	非常勤医師	
胃腸内科	午前	☆	大貫敬三					
※① 循環器内科	午前	☆	古山輝将 (9:00~12:00)		鏡原康介	岡本公志 (9:00~11:30)	玉田智子 (9:00~11:30)	循環器内科医師 第1
	午後	☆	古山輝将 (13:30~16:30)		鏡原康介	岡本公志 (13:30~16:30)		
総合診(内科系)	午前	☆				古谷保		
小児科	午前	☆	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和	中島英和
	午後	13:30~14:30	予防接種 アレルギー 乳幼児健診	◎	予防接種 アレルギー 乳幼児健診		予防接種 アレルギー 乳幼児健診	予防接種 アレルギー 乳幼児健診
	午後夜診	15:30~20:00	中島英和		中島英和		中島英和	中島英和 (14:30~17:00)
外科	午前	☆	宮本善文	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸 (8:30~10:00)	宮本善文	宮本善文	院長 田邊秀幸
	夜診	18:00~20:00	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸	院長 田邊秀幸	外科系医師	
※② 整形外科	午前	☆	加川明彦		加川明彦		加川明彦	加川明彦 第2・4
	午後	13:30~16:30	加川明彦	渡邊良	加川明彦		加川明彦	
脳神経外科 脳卒中科	午前	☆	木村知一郎	木村知一郎 (8:30~10:00)	木村知一郎		木村知一郎 (第3金8:30~10:00)	
脳卒中科	午前	9:00~11:30				植村順一		
耳鼻 いんこう科	午前	☆	東川康彦	東川康彦	東川康彦	東川康彦	東川康彦	
	午後	14:30~17:00	東川康彦			東川康彦	東川康彦	
形成 美容外科	午後	14:00~17:00					宗内巖 第1・3・5	
皮膚科	午前	9:30~11:30	桑原千晶			山本佳子 第2・3・4		
泌尿器科	午前	10:00~12:00					非常勤医師	
婦人科	午後	15:00~17:00				非常勤医師 第1・3 (第3木14:00~16:00)		
放射線科	午前	☆			小國達郎	小國達郎		
	午後	☆			小國達郎	小國達郎		
※③ 歯科 歯科口腔外科	午前	☆	山本・猿山	猿山・田中	猿山・米満	猿山・田中	田中・仲田	猿山・田中
	午後	☆	山本・猿山	猿山・田中	田中・米満	山本・猿山	田中・仲田	田中輝
	夜診	18:00~20:00	猿山雅典		田中輝		田中輝	
健診 (予約のみ)	午前	☆	東良平	藤井守	小國達郎	小國達郎	東良平	佐藤暢
	午後	13:30~16:00	東良平	藤井守	小國達郎	婦人科健診 のみ	東良平	

- ※①…循環器内科は月・水・木・金・第1土曜日は予約制となります。
 ※②…整形外科の診療(午後診)は手術のため、急遽休診となる場合があります。
 ※③…歯科の受付時間は各日ともに診療終了時刻の1時間前となります。
 ◎……予防接種・乳幼児健診・アレルギー・検査日(13:30~17:00)
 ☆……午前 8:30~12:00
 午後 13:30~17:00

児島中央病院だより

平成28年10月1日発行(毎月発行)
 発行責任者: 田邊 秀幸
 編集責任者: 山田 達也

地域医療連携室
 TEL (086)473-7815
 FAX(086)473-7816

当番医の
お知らせ

10月16日(日)は、地区の当番医です。



医療法人医誠会
児島中央病院

〒711-0912 倉敷市児島小川町 3685 番地
 代表 (086) 472-1611 FAX (086)474-3148

<http://www.kojimach.or.jp>